

企画展

北海道立アイヌ民族文化研究センター
旭川市博物館

山田秀三の地名研究から

やまだひでぞう

2005・旭川

2005年

7月2日(土) ▶ 8月21日(日)

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入場は午後4時30分まで)
- 休館日 7月11、25日、8月8日
- 会場 旭川市博物館特別展示室
- 入場無料

主催：北海道立アイヌ民族文化研究センター
旭川市博物館
協力：国土地理院北海道地方測量部

関連事業

[講演会]

山田秀三とアイヌ語地名研究をめぐって

- 講師 萩中美枝 (アイヌ口承文芸研究者)
「山田秀三さんと知里真志保——旭川の地名調査の思い出など」
- 講師 佐々木利和 (文化庁主任文化財調査官)
「山田秀三先生とアイヌ語地名資料集成」
- 2005年7月23日(土) 午後2時～午後4時30分
- 会場：旭川市大雪クリスタルホール大会議室(旭川市博物館併設)
- 聴講希望の方は、旭川市博物館(0166-69-2004)までお申し込み下さい。

[連続講座]

- 7月3日(日) 「山田秀三文庫の資料について」
古原敏弘・小川正人 (北海道立アイヌ民族文化研究センター)
- 7月17日(日) 「旭川地方に伝承されるアイヌ音楽について」
甲地利恵 (北海道立アイヌ民族文化研究センター)
- 7月31日(日) 「山田秀三先生と歩いた地名調査——初山別の調査を中心にして」
高橋 基 (アイヌ語地名研究会幹事)
- 8月7日(日) 「アイヌ英雄叙事詩の世界」
萩中美枝 (アイヌ口承文芸研究者)
- 会場：各回とも旭川市博物館郷土学習室 午後2時～午後3時30分

● 聴講希望の方は、旭川市博物館(0166-69-2004)までお申し込み下さい。

(講演会、連続講座は、いずれも道民カレッジ連携講座です)

アイヌ語地名を歩く

*地図：5万図「旭川」「深川」を貼り合せ、アイヌ語地名などを書き込んだもの。(国土地理院承認番号 平17道複第43号)

*写真：室蘭・チャラツナイの海岸に立つ山田秀三

アイヌ語地名を歩く

山田秀三の地名研究から 2005・旭川

アイヌ語地名研究で知られる故・山田秀三氏(1899～1992)の研究資料は、ご遺族から平成6(1994)年に北海道立アイヌ民族文化研究センターに寄贈されました。当センターではこれを「山田秀三文庫」と名づけ、整理作業を続けてきました。

このたび整理作業がほぼ終了したことから、資料の公開に向けた取り組みの一環として、表記の企画展を開催することにいたしました。昨年度の札幌市に引き続き、今年度は旭川市にて開催いたします。

* * *

展示では、山田氏が地名研究に用いた資料や現地調査に用いた地図、撮影写真、調査後に作成した記録などを使って、氏の調査の足跡をたどっていきます。地名調査の記録については、特に開催地である旭川や道北各地の資料を中心に紹介いたします。

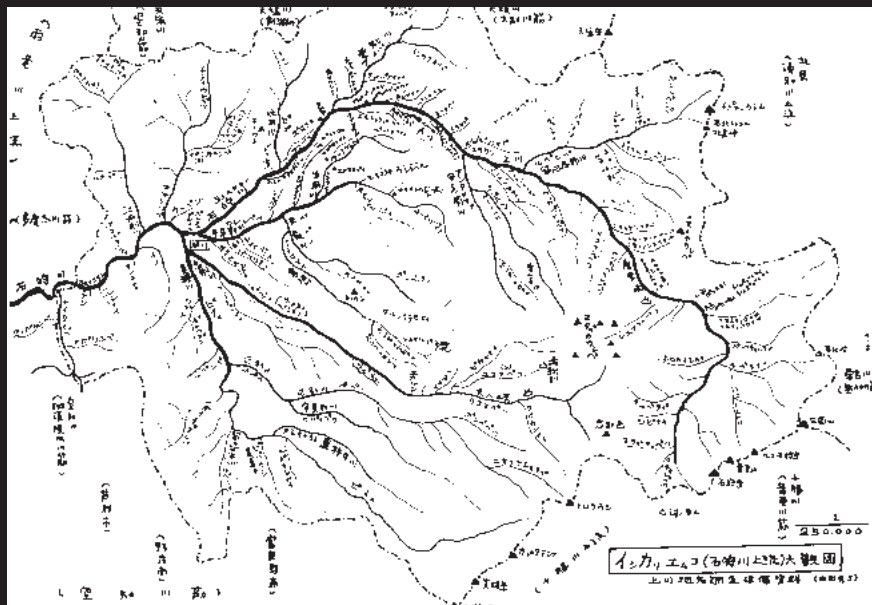
また、山田氏は、北海道文化財保護協会、アイヌ無形文化伝承保存会の創設に参画し役員をつとめるなど、アイヌ文化や北海道の文化財にも深い関心を持っていました。こうした様々な足跡に関する資料の展示なども予定しています。

期間中には、「山田秀三とアイヌ語地名研究」と題した講演会や、関連する内容の連続講座なども予定しています。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらの地名研究資料をととして、アイヌ文化の一端に触れていただきたいと思います。



ファイル「旭川 美瑛、留辺志部 48」(YF0020)より
留辺志部川沿いの調査記録の一部。上川町内、石狩川との分岐からやや上流の地点での撮影写真など。



イシカリエムコ(石狩川上流)大観図(YM0462-02-10)
石狩川上流部の川筋を描き川名などを書き込んだもの。右下隅に、表題、縮尺のほか「上川地名調査準備資料」などの記載がある。

[山田秀三氏の略歴]

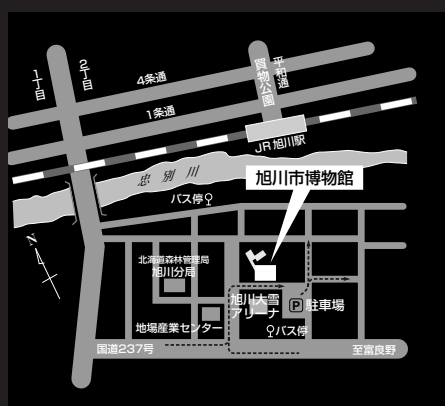
1899(明治32)年東京生まれ、東京帝国大学法学部を経て農商務省、商工省等に勤務、1945年退官。

1949年から北海道曹達株式会社設立時に請われて社長となる。のち会長、相談役を歴任。

1941年に着任した仙台鉱山監督局長時代に東北の地名に関心を持ち、戦後は、自ら「道楽」と称して東北・北海道のアイヌ語地名を調査した。

金田一京助氏の薫陶を受け、知里真志保氏、久保寺逸彦氏と交友関係を持ち、アイヌ語や古代史に関する深い知見を有していた氏の研究は、既存の文献や地図を徹底的に調べ、その上で現地を確認していくという実証的な研究方法を確立し、アイヌ語地名研究の水準と蓄積を大きく前進させた。

著書に『アイヌ語地名の研究 山田秀三著書集』、『北海道の地名』などがある。



旭川市博物館

Asahikawa City Museum

〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目
旭川市大雪クリスタルホール

TEL: 0166-69-2004
FAX: 0166-69-2001

◆ ホームページ:
<http://www.htokai.ac.jp/DD/MUSEUM/MUSEUM.html>

北海道立アイヌ民族文化研究センター

Hokkaido Ainu Culture Research Center

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7 5階

TEL: 011-272-8801
FAX: 011-272-8850

◆ ホームページ:
<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-ambkc/hacrc/hp/>

アイヌ語地名を歩く

山田秀三の地名研究から 2005・旭川

アイヌ語地名研究で知られる故・山田秀三氏(1899～1992)の研究資料は、ご遺族から平成6(1994)年に北海道立アイヌ民族文化研究センターに寄贈されました。当センターではこれを「山田秀三文庫」と名づけ、整理作業を続けてきました。

このたび整理作業がほぼ終了したことから、資料の公開に向けた取り組みの一環として、表記の企画展を開催することにいたしました。昨年度の札幌市に引き続き、今年度は旭川市にて開催いたします。

* * *

展示では、山田氏が地名研究に用いた資料や現地調査に用いた地図、撮影写真、調査後に作成した記録などを使って、氏の調査の足跡をたどっていきます。地名調査の記録については、特に開催地である旭川や道北各地の資料を中心に紹介いたします。

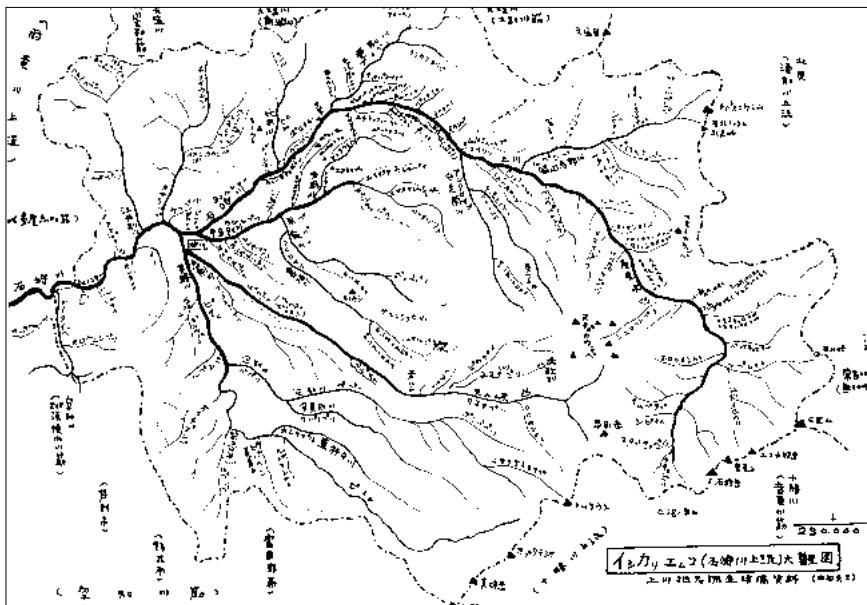
また、山田氏は、北海道文化財保護協会、アイヌ無形文化伝承保存会の創設に参画し役員をつとめるなど、アイヌ文化や北海道の文化財にも深い関心を持っていました。こうした様々な足跡に関する資料の展示なども予定しています。

期間中には、「山田秀三とアイヌ語地名研究」と題した講演会や、関連する内容の連続講座なども予定しています。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらの地名研究資料をととして、アイヌ文化の一端に触れていただきたいと思います。



ファイル「旭川 美瑛、留辺志部 48」(YF0020)より
留辺志部川沿いの調査記録の一部。上川町内、石狩川との分岐からやや上流の地点での撮影写真など。



イシカリエムコ(石狩川上流)大観図(YM0462-02-10)
石狩川上流部の川筋を描き川名などを書き込んだもの。右下隅に、表題、縮尺のほか「上川地名調査準備資料」などの記載がある。

[山田秀三氏の略歴]

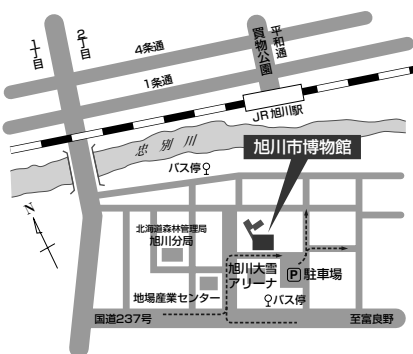
1899(明治32)年東京生まれ、東京帝国大学法学部を経て農商務省、商工省等に勤務、1945年退官。

1949年から北海道曹達株式会社設立時に請われて社長となる。のち会長、相談役を歴任。

1941年に着任した仙台鉱山監督局長時代に東北の地名に関心を持ち、戦後は、自ら「道楽」と称して東北・北海道のアイヌ語地名を調査した。

金田一京助氏の薫陶を受け、知里真志保氏、久保寺逸彦氏と交友関係を持ち、アイヌ語や古代史に関する深い知見を有していた氏の研究は、既存の文献や地図を徹底的に調べ、その上で現地を確認していくという実証的な研究方法を確立し、アイヌ語地名研究の水準と蓄積を大きく前進させた。

著書に『アイヌ語地名の研究 山田秀三著書集』、『北海道の地名』などがある。



旭川市博物館

Asahikawa City Museum

〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目
旭川市大雪クリスタルホール

TEL: 0166-69-2004
FAX: 0166-69-2001

◆ ホームページ:

<http://www.htokai.ac.jp/DD/MUSEUM/MUSEUM.html>

北海道立アイヌ民族文化研究センター

Hokkaido Ainu Culture Research Center

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7 5階

TEL: 011-272-8801
FAX: 011-272-8850

◆ ホームページ:

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-ambkc/hacrc/hp/>